



三珠中学校  
学校便り

# 礎

## ishizue

令和5年12月22日  
文：校長 丹沢伸也

### 令和5年度2学期が終了 更なる飛躍の3学期に



本日で2学期が終わりました。「4年ぶり」という言葉が流行語の一つになりましたが、三珠中においても、コロナウィルスの5類への移行から様々な制限がなくなり、「4年ぶり」に通常開催となった希珠祭、合唱発表会など、コロナ禍前の学校が戻ったことを実感できた学期でした。

1年生はナーシング訪問、福祉学習、清洲高校訪問に取り組み様々な学びを深めることが出来ました。

2年生は、職場体験に取り組み、働くことの意味や大切さを学ぶことができました。

また、新人戦、生徒会役員選挙と、いよいよ三珠中のバトンが3年生から受け渡されることを感じさせる、そんな学期でした。

3年生は、思春期体験学習に取り組み、生命の尊さについて学びました。そして、何

より、自己の進路を決める時期になり、そのために到達検査や受験勉強に一生懸命励みました。実りの秋、と言う言葉通り、各学年実り多い活動ができ、大変中身の濃い充実した2学期だったと思います。

その中でも、特に印象に残っているのは、11月の合唱発表会です。4月に「コロナ禍による3年間の空白の期間があり「これまで見たことのない景色」を再び見ることができると良い」、そんな話をしました。全校生徒が一つになつて一生懸命に歌う姿は、3年間「見る」ことのできなかった景色で、聴く人を感じ動かせ、合唱の素晴らしさを改めて感じさせてくれました。「以前の合唱が盛んな三珠中学校学校に戻った」と感慨深い場面でした。

明日から冬休みになります。気持ちを新たに1月9日の始業式で会いましょう。



### Like a Star ありのままの声で 4年ぶりに合唱発表会実施



合唱となりました。」と評価していただきました。また、保護者の方々からも「どの学年の発表も心を打たれ涙がおちました。」「心を込めて一生懸命歌っている姿に感動しました。」「1年生の一人一人の輝く声、1年生の透き通った美しい歌声、1年生は最高に素晴らしい、心のこもった歌声と先生たちの見守る姿に涙をこらえるのが必死でした。」など多くの感想をいただきました。

合唱交流会の後、芸術鑑賞教室を行い、世界を舞台に演奏活動や音楽指導で活躍されている 山本由紀美 さんによるコンサート「海からのメッセージ」を行い、美しい水中映像と歌声で海の世界を鑑賞する機会となりました。

「Like a Star ☆ ありのままの声で」のテーマのもと、50名近い参観者をいただく中で、4年ぶりに一堂に会しての合唱発表会をおこなうことができました。自分たちだけの合唱をつくりあげたいという熱意と、この仲間と最高のものを作り上げたいという思いが、学年・全校の団結と絆を強め、どの学年もすばらしい表現を披露してくれました。講師の青洲高校の薬袋 直哉先生からも「思わず涙が流してしまおうすばらしい合唱でした。まさにありのままの声で心を込めて歌う姿に感動しました。上手に歌おうとするのではなく、全員が歌詞に思いを込めて練習してきたからこそ、人の心を動かす

新たなリーダーが決定しました  
令和6年度生徒会役員選挙実施

令和6年度の生徒会役員選挙を決める生徒会役員選挙が12月13日（水）に行われ、候補者による立ち会い演説会に続いて投票が行われ、役員が決定しました。

決定したのは会長1名、副

### 新たなリーダーが決定しました 令和6年度生徒会役員選挙実施

会長3名です。会長は候補者が2名で選挙となりましたが副会長は立候補者数が定数だったため、信任投票となりました。

立ち会い演説会では、候補者と応援生徒が演説を行いました。



したが、どの生徒も立派な態度で演説を行いました。開票後結果が放送で全校生徒にアナウンスされ、放課後には選挙管理委員長から一人一人に当選証書が手渡されました。

この後、当選した役員達で相談し会長が生徒会書記と会計を指名し、すべての役員が決まることになりました。

この日候補者達が発表した選挙公約が、そのまま来年度の三珠中学校の理想の姿であると思います。当選した役員のみならず、その思いを活かして来年度の生徒会活動を推進して欲しいと思います。

### 1年生「みさと学」の学習活動紹介 「福祉学習」「青洲高校訪問」

#### 福祉学習



11月10日（金）に1年生の福祉学習が行われ、講師をお招きし、手話について学びました。学習会の中では、市川三郷町の手話条例や、手話通訳者の仕事について座学で学んだ後、市川三郷町役場、市川三郷町聴覚障害者協会、手話サークル「神明」、町社会福祉協議会の方々にも指導をいただきました。自己紹介をはじめとする基本的な手話を学びました。生徒は活動にとても積極的に参加し、手話について学ぶとても良い機会となりました。

#### 青洲高校訪問

12月14日（木）、1年生は青洲高校訪問を行いました。到着時には、青洲高校の小林校長先生がわざわざ玄関



で迎えていただきました。日程の説明を聞いた後、時間をかけて広い校内をじっくりと見学させていただきました。高校生が座学や実習で学ぶ姿を間近で見ることができました。見学後は、青洲高校についての説明や、高校進学をするとはどういったことなのかという話をしていたいただきました。高校という場所を実際の目で見た1年生たちは、様々な刺激を受けた有意義な時間となった様子でした。



### デジタル教材の試用を 始めました

現在タブレット端末を試用した授業を進めています。12月、デジタル教材の「iPboard」が無料で試用できることから、学校で授業で活用を始めました。この「iPboard」は、児童・生徒の「主体的な学び」をサポートする学習支援サービスで、AI型ドリルを使つて生徒は習熟度に応じて自動に作られた問題を解くことで学力向上できるだけでなく、自ら学ぶ力を育むことも機能も用意されているそうです。12月7日には1年生の数学の授業で、反比例を学習した後、タブレットを使いAIドリルに個々に取り組んでいました。今後試用する中で、その有効性が見られれば、来年度本格的に導入することを考えていきたいと思います。

### PTA給食試食会

12月15日、例年行われているPTA母の部による給食の試食会が行われました。4名の保護者が給食センターを見学し、栄養教諭の先生の話も聞いて給食を試食しました。その後は、教室で給食を食べる様子を見学しましたが、参加した保護者にとっては、給食の様子がわかる機会になったことと思います。







# 2学期のスナップ

